



緑の党は、グローバルグリーンズ憲章の6つの政治理念、

- ①エコロジカルな知恵
- ②社会的公正・正義
- ③参加民主主義
- ④非暴力・平和
- ⑤持続可能性
- ⑥多様性の尊重

に基づき、「緑の社会ビジョン」の実現をめざします。
国政に緑の議席を！

5月7日（火）「緑でいこう 原発ゼロ全国キャラバン」出発！



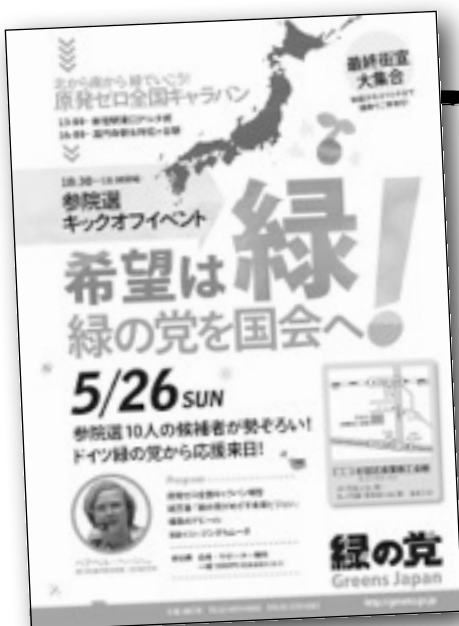
鹿児島



北海道



沖縄



原発ゼロ全国キャラバン最終日～5月26日（日）

希望は『緑』 緑の党を国会へ！

参院選10人の予定候補者が勢ぞろいしてアピール
ドイツ緑の党から応援来日
＜ベアベル・ヘーン連邦議会議員・会派副代表＞

- 日 時：5月26日（日）18:30～
- 会 場：杉並区産業商工会館（東京都）
JR阿佐ヶ谷駅・丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅 徒歩5分
- 参加費：会員・サポーター無料
一般1000円（貧困者割引あり）

オピニオン

「1票の格差」問題／7月の参院選

緑の党では、時々の政治・社会状況に対して、緑の視点からの声明や見解、論説、談話などを発表しています。

◆【談話】 「1票の格差」問題－本当に必要な課題は何か？
民意を歪める小選挙区制度と高額な供託金制度の廃止、比例中心の選挙制度へ
(2013年3月29日 緑の党・共同代表 中山均)

いわゆる「1票の格差」をめくり、違憲判決が相次いでいます。広島高裁は判決文で「民主的政治過程のゆがみは重大」「最高裁判所の違憲審査権も軽視されている」「許されるべきではない」と断じています。
しかし、「民主的政治過程のゆがみは重大」と言うならば、たった1名の議員を地域の代表として選出し、大政党が得票率をはるかに上回る割合

の議席数を獲得する小選挙区制度こそ、その重大で深刻な「ゆがみ」が指摘されなければなりません。そして小選挙区制度は、人口の増減によってその都度定数の割り当てや区割りの見直しが避けられず、「0増5減」案はそうした見直しと党利党略の妥協の産物であり、小手先の調整に過ぎません。一方、比例制度ならば得票率に応じて議席が配分され、基本的に「1票の格差」は生じませ

◆【政策】 参院選公約・第一次案
「いのちをつむぐ緑のプロジェクト」
2013年4月10日発表



- ①いのちと子どもを守るため、原発は今すぐゼロへ
－福島を忘れない 福島の悲劇を繰り返すな！
再生可能エネルギーへシフトし、豊かで健やかな生活を－
- ②開発・大量消費社会から環境保全型社会へ
－豊かな自然の恵みあふれる社会を子どもたちの手に－
- ③経済成長至上主義からスロー・スモール・シンプルな社会へ
－地域でモノ・金・仕事が回る経済へ いのちと環境を壊すTPPは要らない－
- ④富と負担を公正に分かち合い、消費増税はやめる
－人として尊重され安心して暮らせる社会へ－
- ⑤国内外の市民の交流と連帯で平和な国際社会へ
－領土争いはストップ。対立ではなく相互理解と信頼関係の構築、
対話と交渉で北東アジアに平和の実現を－
- ⑥「おまかせ民主主義」にサヨナラし、自分たちが決める
－徹底した情報公開と市民参加の実現、議会と選挙制度の抜本改革を－
- ⑦多様な生き方を認め合い、子どもとともに未来を育む社会へ
－誰もが差別も排除もされずに安心して暮らせる社会のための法制度を－

※詳しい内容はホームページ (http://greens.gr.jp/2013kokkai_info/6213/) をご参照ください。

ん。「1票の格差」をめぐる訴訟や報道機関の議論は、民意を歪める小選挙区制度の欠陥を見過ごし、比例制度の優位性も無視しています。国会での比例部分の定数削減議論も、民意と国会との乖離を一層拡大するものです。

また、国会議員選挙への立候補に数百万円もかかる供託金制度も「民主政治をゆがめる」重大な要因のひとつです。諸外国と比べて極めて特異なこの制度は、富裕層や組織基盤を持った者以外の民主的権利を事実上剥奪しているに等しいものと言えます。私たちは、「1票の格差」論や「区割

り・定数の見直し」ばかりに終始する議論とは一線を画し、小選挙区制度の廃止、国や地方の選挙制度を比例制度中心に抜本的に改正すること、供託金制度の大幅改革・廃止こそ、日本の選挙制度と「民主的政治過程のゆがみ」を是正するための最優先課題であると考えます。

「緑の党」の本年7月の参院選への取り組みは、私たち市民自身が主権者のひとりひとりとして、この歪んだ選挙制度を大きく変え、政治の舞台に登場する挑戦でもあります。一緒に新しい未来を創りましょう。

◆【声明】7月参院選は歴史的分岐点。不退転の決意で、緑の党の議席をかちとろう
～選挙まで待ったなしの100日～

(2013年4月6日 緑の党全国協議会)

参院選に向けて準備整う

参院選の予定候補者7人が確定しました。その顔ぶれは、大飯原発再稼働反対、原発即時ゼロをめざし活動してきた仲間、自死遺族の当事者、格差・貧困問題にも積極的に取り組む仲間、地域で活動する自治体議員など多様です。女性が多く、緑の党がめざす未来の社会像を示す、誇れるメンバーです。

一億円カンパは3月末で遂に5,000万円を超え、超高額な供託金の巨大な壁も突破しつつあります。ご支援いただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。選挙公約は討議を積み重ね、第1次案を発表しました。全国では緑の党と連携する緑の地域組織の活動も活発化し、ネットワークも日々広がっています。まさに選挙に向けての準備が整いました。

7月参院選は、極めて重要な選挙

昨年末の衆議院選挙では、原発を推進して来た自民党が政権に返り咲き、謝罪するどころか原発推進を明言し、新たな原発の建設にまで言及して

います。また、TPP交渉への参加、生活保護費の削減を進め、さらに「集団自衛権の行使」、「平和憲法の改正」に踏み出そうとしています。これは明らかに民意に対する挑戦です。自民党が、衆議院だけでなく参議院の多数を確保すれば、平和で持続可能な未来はもはや展望できません。一方、自公政権に抵抗する既存政党は「選挙のための離合集散」を繰り返して、脱原発の民意は行き場を失い、政治不信が深刻化しています。

あと100日、一層の力の結集と支援を

私たちは、もはや既成政党、その離合集散に希望を託すことはできません。閉塞した政治状況に風穴を開け、政治への信頼と期待をつなぎ、子どもたちに希望ある未来を築くために私たちの代表を国会に送ることは、いまや歴史的責務です。

残された時間はあと100日。7月の参院選挙に不退転の決意で挑むために、より一層の結集を呼びかけます。ともに進み、勝利を掴みとりましょう。



てぬぐいができました！

- 値段：600円（送料：実費）
- 購入案内：事務局へのご連絡またはホームページの問い合わせフォームにより、ご希望の枚数をご連絡ください。お支払いは商品到着後の後払いとなります。納品書と郵便局の振込用紙を一緒にお送りしますので、そちらか、ネットバンキングからお振込みください。



2013年4月20日 神戸新聞



2013年5月4日 北海道新聞

2013年5月8 沖縄タイムス

2013年5月8日 琉球新報



<選挙関連情報>

- ◆2013/4/14 新上五島町議会議員選挙
うたのあやさん (会員/推薦) = 落選 (500票)
- ◆2013/4/21 伊豆の国市議会議員選挙
谷 壮一さん (会員/推薦) = 落選 (635票)

全国キャラバン

キャラバンカーは今どのあたり？

列島を疾走中の「緑でいこう 原発ゼロ全国キャラバン」のかわら版。キャラバンカーは今どのあたり？ ぜひfacebookページをチェック！ <https://www.facebook.com/GoGreensCaravan>

5/8 札幌で記者会見



5/9 北海道・函館で交流

5/10 福岡で九州電力に申し入れ



5/10 青森六ヶ所村の再処理工場



5/10 青森・大間のあさこはうす



5/10 仙台で交流集会



5/10 佐賀県庁



5/12 北九州でチラシまき

5/9 長崎で記念写真



5/11 大分で街宣



5/8 熊本で記念写真

イベント報告

4.6東京で、4.13京都で予定候補者が登場

4月6日に東京で、4月13日に京都で、それぞれ緑の党の主催イベントが開催され、予定候補者が登場しました。



**■4.6 市民発“緑の党”が国会へチャレンジ！
参院選予定候補者5人と選挙公約発表**

東京YMCAアジア青少年センターで開催したこのイベントには、大雨にもかかわらずたくさんのご来場をいただきました。笑顔とユーモアが溢れるほのぼのとした雰囲気の中で、参院選予定候補と「緑のプロジェクト」を発表しました。

*詳しくはこちらを参照

<http://greens.gr.jp/event-info/6569/>

**■4.13 ハインリッヒ・ベル財団来日記念シンポジウム
「希望は“緑”ーなぜドイツは脱原発を選択できたかー」**

ドイツからベル財団の評議会共同議長ミヒャエレ・シュレーヤーさん（元欧州委員会委員、『EU共同体と再生可能エネルギー』著者）を迎え、キャンパスプラザ京都で開催しました。3人の予定候補者も登場し、決意を語りました。

また翌4月14日には、脱原発をめざす首長会議の主催による公開シンポジウム「自然と共存するエネルギーのまちへーなぜドイツは脱原発を選択できたのか？ー」が、三重県伊勢市で開催されました。

*詳しくはこちらを参照 <http://greens.gr.jp/event-info/6635/>



世界のみどり

バヌアツ共和国に緑の党の首相が誕生

世界各地の緑の党のニュースや、「緑の党 Greens Japan」と世界とのつながりを紹介します。

■ 南太平洋バヌアツ共和国に緑の党の首相が誕生（2013年4月25日）



南太平洋のシェパード諸島に位置するバヌアツ共和国に緑の党の総理大臣が誕生。新首相のカロシル氏は1963年生まれ。仏領ポリネシアからの帰化人で「緑の同盟」党首。

「緑の同盟」は日本の緑の党Greens Japanも加盟している世界的な緑の党の組織であるグローバル・グリーンズやアジア太平洋グリーンズネットワーク（APGN）には加盟していないが、今後の関係構築が期待される。

参院選へ向けて、ただいま東奔西走中！

<p>すぐろ奈緒</p>  <p>党共同代表、杉並区議 東京/34歳 比例</p>	<p>長谷川羽衣子</p>  <p>党共同代表、NPO代表 京都/31歳 比例</p>	<p>杉原こうじ</p>  <p>党脱原発担当 東京/47歳 比例</p>
<p>田口まゆ</p>  <p>自死遺族NPO代表 東京/39歳 比例</p>	<p>大野拓夫</p>  <p>元ネットワーク横浜 神奈川県/44歳 比例</p>	<p>しまざきなおみ</p>  <p>アイヌ民族党女性局長 北海道/54歳 比例</p>
<p>木村ゆういち</p>  <p>福島原発事故避難者 佐賀/53歳 比例</p>	<p>松本なみほ</p>  <p>環境政策コンサルタント 38歳 兵庫選挙区</p>	

緑の党 Greens Japanは現在、7月の参議院選挙の予定候補者8人（比例代表7人、兵庫選挙区1人）を公認しています（山田みちこさんは本人から辞退の申出があり、5月16日の全国協議会で確認されました）。

予定候補者の詳しい情報は、下記HPをご覧ください。
http://greens.gr.jp/member-senkyo/candidate_top/

※残る2人の予定候補者は近日中に発表を予定しております。

★緑の党にご入会ください★



①振込または手渡しにて会費の納入をお願いします（振込先はページ下）。
*年額1万円（サポーター:3千円）
*サポーターは総会時に議決権がありません。
*会費年度は1月～12月です。その年度毎に会費を納めていただくこととなります。ただ今年は7月の参院選までに多額の資金が必要なため、できれば6月まで早めにお願ひできると助かります。
*減免制度については、事務局にお問い合わせください。

②ホームページの入会申し込みフォームに必要事項をご入力ください。または事務局にお問い合わせください。



〒166-0003
杉並区高円寺南4-7-1
藤和シティコープ春木屋ビル202
TEL 03-6454-6068
FAX 03-3318-6063
E-MAIL greens@greens.gr.jp
<http://greens.gr.jp>

カンパ募集中！

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号：00100-9-262967
口座名称：緑の党
他金融機関からの振込の場合
口座種別：当座預金
店名：〇一九
(ゼロイチキュウ)
口座番号：262967

銀行口座 三菱東京UFJ銀行
高円寺支店（店番号：155）
普通口座 0109866
口座名：緑の党

*銀行振込みの場合は、氏名、住所、職業、電話番号を、事務所にメールまたはFAX等でお知らせ下さい。